

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	救急車適正利用啓発推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O2	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	救急車利用者	意図	救急車の適正な利用を促し、適正な救急業務の推進を図る。
事業内容	近年、救急車の出動件数の増加に伴い救急隊の現場到着時間も増加傾向にあることから、市民に救急車の正しい利用法を普及啓発することにより、救急業務の適正化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市広報誌及び流山市ホームページに「救急車利用マニュアル」を掲載するとともに、消防救急訓練等の行事にて広報活動を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	救急車の現場到着時間	7分59秒	8分12秒	8分10秒		↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	市民に救急車を正しく使ってもらうために、流山市ホームページに「救急車利用マニュアル」を掲載するとともに、消防救急訓練等の行事にて広報活動を行っている。		

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,674,200	2,059,500	2,185,500
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)			
人役・職員(人)	0.20	0.30	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.10		0.10
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	救急件数の増加に伴い、軽症者等の安易な救急要請事案対策に取り組む。	③取組の課題	様々な情報機関を利用し、多くの市民に普及啓発していくことが必要。
②今年度(H29)に実施した取組	広報及び掲示物等により救急車の適正利用を呼び掛ける。	④今後(H30以降)の改善計画	市民に対し救急車の適正な利用を促し、より有効な救急業務の推進に努める。